

「うつせみ」の御詠歌

松 濤 基 作 曲
高倉 美代子 振 付

要領	正座し扇をぬいて、前におく	
唱え奉る「うつせみ」の	静かに合掌	
御詠歌に	右手にて扇をとり左手にて支えつつ静かに立ち四拍目左手袖をもち構える	
歌	手	足
あ	両手を横に開きながら	右足より
―		前進
み	膝の前に寄せる	右足を少し前にして止り両膝を折り 五歩目
―		腰をおとす
だ	両手を横にあげながら	右足より五歩後退し
―		
ぶ		
と	肩の高さにあげる	両足を揃える
こ		
―		
―	両手で扇を開く(表上)	
こ		
ろ	左手は左足のももに、右手は扇を	右足を後に引く
―	少し下げ顔は上を仰ぐ	
―	更に扇を捧げ頭をさげる	ひざを折る
は		
に	正面で一度扇をふせてから	
―		
し	又扇を上に戻して斜左前に出し左手袖をとり	右足を斜左前に出し
―	構える	右にまわり
に		元の位置にかえる
―		
―		
(休)		

歌	手	足
う	右手親指と、人差し指で扇の親骨を	右足を斜右に向け
	もちくりと廻して表外側にして斜	左足を右足の前に出し
つ	右下に出し、左手は左の方斜め上に	腰をおとし、扇を見る
せ	あげる	
み	正面にて扇を左手にもちかえ(中骨をもつ)	
		左足先を斜め左に向け
の	左上上に伸し右手は右下に伸す	右足を斜左前方に出して膝を
	顔も扇の方を見る	まげる
も	両手横から	
ぬ	下を通って前に寄せながら	左足より小走りに出て
	扇、左手より右手に持ちかえて	
け	両手を上にあげて伸す	右足一步前にして止り
は	両手外側からおろしながら	右足より下がりながら
て	右横で閉じる	右膝をついて腰をおろし
た	右手扇の表を上にして	
	ゆっくり	
	眼前に持っていき扇子の先を	
	左手で受ける	
る	静かに頭をさげる	
(休)		立って左足を引き右足に揃える

歌	手	足
こ	扇を開き「要がえし」をして左手にて	
	右袂をもち	右足前に出し
	扇を正面より右に移しながら	右足先を少し浮かして静かに下す
	(顔は右の方を見る)	
え	扇は正面に戻して	左足を一步前に出し
ぞ	左にうつす	左足先を少し浮かして静かに下す
	(顔は左の方を見る)	
す	扇をかえして裏を正面に向けて	
	両手で支え	
	右に移す(顔左上を見る)	
	扇を左に移す(顔右上を見る)	左足を一步下げる
ず	扇を右に移す(顔左上を見る)	右足を一步下げる
		右足をかけて左まわりして
し		左足を引き
		右足を引いて
き	腕前に右手で扇を支え	膝をつき腰を下す
	その上に左手片手合掌をする	
(休)		
扇子を横で閉じ一度構えてから正面において合掌する		

ポイント注意

【にーしー】 顔の向き。首を左に傾け、目線はやや上を見ます。

【ぬーけはー】 足に注意。右足を一步出して重心をかけます。